

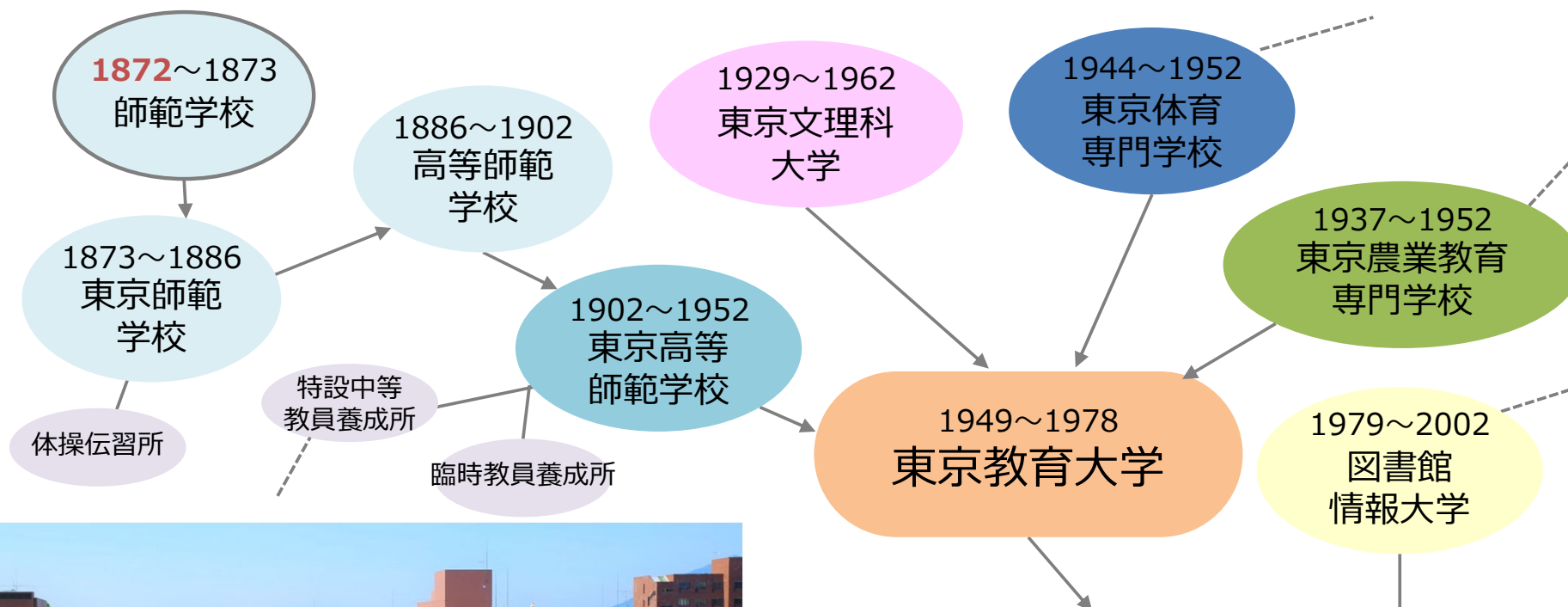


筑波大学

職員採用説明会 大学概要

1.筑波大学の沿革

「開かれた大学」「教育と研究の新しい仕組み」「新しい大学自治」
を特色とした総合大学



2.筑波大学の資源

豊富な資源

人的 資源

- ◆ 総学生数：16,684名（学群学生9,573名、大学院生7,111名）
 - ◆ 常勤教職員数：5,504名
 - ◆ 外国人留学生数：2,341名
 - ◆ 11附属学校児童・生徒数：3,937名
- ※いずれもR7.5.1現在

物的 資源

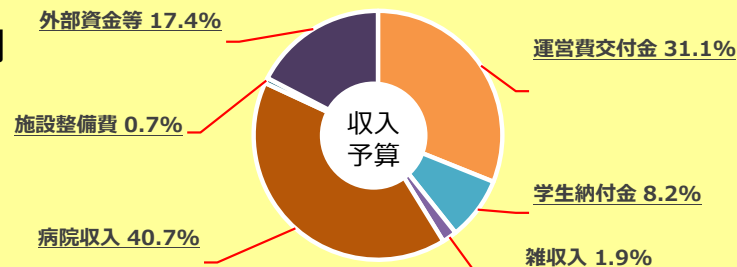
- ◆ キャンパス…筑波キャンパス（南北約5km、約258ha（東京ドーム約55個分））
東京キャンパス
- ◆ 附属学校（11校）…先導的教育拠点、教師教育拠点、国際教育拠点
- ◆ 附属病院…県内唯一の特定機能病院、県内初の高度救命救急センター
- ◆ 附属図書館…中央図書館と4館の専門図書館、蔵書数約270万冊（電子ブック除く）

経済的 資源

- ◆ R7年度学内当初予算(収入)：約1,121億円

主な内訳

- ・ 運営費交付金：約348億円
- ・ 附属病院収入：約456億円
- ・ 外部資金：約194億円



筑波研究
学園都市

=

日本最大の
最先端研究開発拠点

- ・ 国立の研究機関の約3割が集積
- ・ 約2万人の研究者が研究活動

3.筑波大学の研究

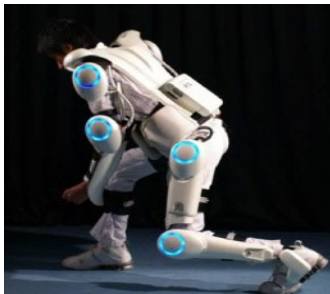
高度で先進的な研究力

睡眠の謎を解明する
革新的な研究
(国際統合睡眠医科学研究機構)



ビッグデータ解析、
超大規模AI分野を強力に推進
(計算科学研究センター)

新学術領域
「サイバニクス」
による未来開拓



科学研究費補助金
採択件数 (R6年度)

1,327件※1
国内全研究機関中
第8位

高被引用論文数
(H26.1.1~R6.12.31)

345件※2
国内全研究機関中
第12位

※1 日本学術振興会公表資料より

※2 Clarivate Analytics : Research Institutions Ranking In Japan

産学連携の強化

国際産学連携本部の設置 (H26.4)

- ◆ 大学における知的財産に関する業務を一体的に行うとともに、国際的に産学連携を推進するための諸活動を行い、法人の社会貢献を推進
- ◆ 設置により民間共同研究受入額を飛躍的に増進

開発研究センターの開設 (H27.7~)

- ◆ 国際産学連携本部の下に開設
- ◆ 社会還元型の研究を推進し、イノベーション創出を促進するために、外部資金等を事業運営費として、社会的要請の高い学問分野での共同研究開発を積極的に推進、産学官の共同研究体制を構築
- ◆ R7.5.1現在12の開発研究センターを設置

筑波大学発
ベンチャー

設立累計数 = 267社 (R7.5.1現在)

4.筑波大学の教育

医学・体育・芸術も有する総合大学
学際融合・領域横断的な教育システム

教員組織



系



教育機能

学士課程
学群・学類

修士・博士課程
大学院学術院・研究
群・学位プログラム

グローバル教育院
(分野横断型の学位プログラム等)

機構・センター
(教育・学生支援)

研究機能

機構・センター
(研究)

戦略イニシアティブ

リサーチユニット
リサーチグループ

教育改革

① 学位プログラム制への移行 (R2.4~)

- ◆ 大学院の8研究科85専攻を
3学術院6研究群に再編
- ◆ 6研究群に計56の学位プログラムを編
成、従来の専攻の壁を越えて指導

② 総合選抜の導入 (R2年度実施入試~)

- ◆ 文系,理系Ⅰ,理系Ⅱ,理系Ⅲといった大
きな区分で受験し入学
- ◆ 1年次は学類・専門学類に所属せず、
様々な「専門導入的な科目」を受講
- ◆ 自らの希望と、履修した科目・成績・
適性に応じて2年次に学類・専門学群
へ所属

5.筑波大学の国際交流

国際的な学術交流による学術研究水準の向上、国際的視野を持つ人材の養成

スーパーグローバル大学創成支援事業

- ◆ 文部科学省のスーパーグローバル大学創成支援事業において「タイプA（トップ型）」に採択
- ◆ 「開かれた大学」から「我が国の高等教育と社会を世界に開き、率先して世界の未来を拓くトランスボーダー大学」への跳躍を目指す

Campus-in-Campus(CiC)
構想

科目ジューク
ボックス
システム

主な取組

海外教育研究
ユニット招致
プログラム

新たな
学位プログラム

海外オフィス

- ◆ 国際連携を推進するため、海外拠点を13か所設置
- ◆ 学術交流の推進、学生交流の支援、優秀な留学生の確保、同窓会ネットワークの構築支援など、さまざまな活動を実施



・アーバインオフィス（アメリカ）
・アルマトイオフィス（カザフスタン）
・クアラルンプールオフィス（マレーシア）
・グルノーブルオフィス（フランス）
・サンパウロオフィス（ブラジル）
・ジャカルタオフィス（インドネシア）
・台湾オフィス（台湾）

・タシケントオフィス（ウズベキスタン）
・チュニスオフィス（チュニジア）
・北京オフィス（中国）
・ホーチミンオフィス（ベトナム）
・ボーフムオフィス（ドイツ）
・ボルドーオフィス（フランス）

6.筑波大学の特色

指定国立大学法人の指定（令和4～9年度）

- ◆ 文部科学大臣が世界最高水準の教育研究活動の展開が相当程度見込まれる国立大学法人を指定
- ◆ 指定を受けた大学は、国際的な競争環境の中で世界の有力大学と伍していくことが期待され、そのための規制緩和として、大学発ベンチャーへの出資が可能となるなどの特例が認められる

地球規模の課題を解決する
『真の総合大学』を目指す



社会の様々な分野におけるトップランナーの輩出



ノーベル物理学賞1965
朝永振一郎
(東京教育大学元学長、名誉教授)
【所蔵：朝永記念室】



ノーベル物理学賞1973
江崎玲於奈
(元学長、名誉教授)



ノーベル化学賞2000
白川英樹
(名誉教授)



永瀬貴規 選手
(写真：築田純／アフロ)



木村敬一 選手
(写真：松尾／アフロスポート)

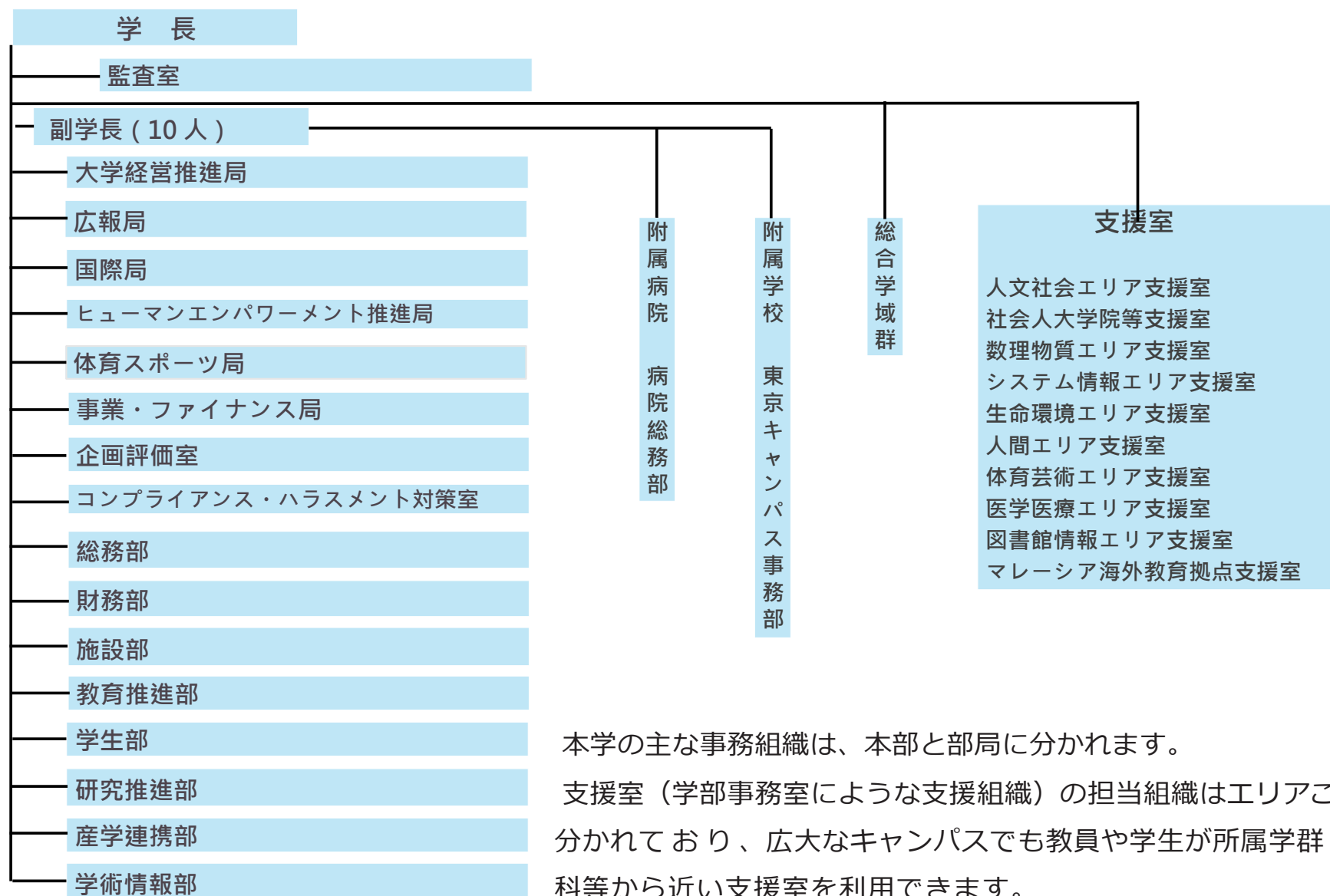


梶原悠未 選手
(写真：望月秀太郎／アフロ)

オリンピックで31、パラリンピックで69のメダルを獲得

(昭和48年以降に本学（附属学校含む）の学生（卒業生・修了生を含む）、教職員が獲得した数)

7. 事務組織



本学の主な事務組織は、本部と部局に分かれます。

支援室（学部事務室のような支援組織）の担当組織はエリアごとに分かれており、広大なキャンパスでも教員や学生が所属学群・研究科等から近い支援室を利用できます。

8. 職員の業務内容

事務職員の業務は教育支援や学生支援だけでなく、多岐にわたります。

筑波大学には附属病院や附属学校もあり、事務職員の活躍の場は大学の上に留まりません。

企画・広報

- 企画・調査・大学評価等の取りまとめ
- 広報活動の企画・立案

総務・人事

- 各種会議・諸行事の運営
- 職員の採用・昇任・異動・給与支給・福利厚生・研修実施

財務・施設

- 予算の要求・執行、物品の契約・購入・管理
- 土地・建物の財産管理、学内施設の管理保全

教育支援

- カリキュラムの編成、履修手続き、修学指導
- 試験の実施、入学・卒業手続き

学生支援

- 課外活動・奨学金・学生宿舎・留学生受け入れ等の各種支援
- キャリア・ジェンダー・アクセシビリティ等の支援

研究支援

- 研究推進のための戦略策定、研究情報の管理・公開
- 競争的研究資金の獲得・活用に関する手続き

国際

- 国際交流の企画・立案、キャンパスの国際化
- 海外大学との学術交流、海外拠点の設置

学術情報サービス

- 学内ネットワークの管理、情報システムの維持・開発
- 図書の貸出・複写・購入・配架・保存

医療支援

- 附属病院の運営
- 臨床研究支援、臨床教育支援

学校支援

- 附属学校等の総括、連絡調整
- 教育課程の管理、附属学校の予算要求・執行

産学連携

- 受託研究・共同研究等の産学連携の推進
- 知的財産管理

事業開発推進

- 新規事業の開発、ステークホルダー・企業との連携
- 筑波大学基金、ホームカミングデー

9.勤務条件

給与・諸手当



<給与（月給）>

4年制大学卒業	254,100円～
修士修了	265,650円～
博士修了	278,817円～

<諸手当>

条件を満たす場合に次の手当を支給
扶養手当、住居手当、期末手当、
勤勉手当、通勤手当、時間外勤務手当

勤務地・勤務時間



<勤務地>

筑波地区、東京地区、各種附属学校、
共同研究施設等
※職員の多くは筑波地区勤務

<勤務時間>

8:30～17:15（休憩時間60分）
※勤務場所によっては異なる場合あり

休日・休暇・休業



<休日>

土日祝日、年末年始

<休暇・休業>

年次休暇（20日/年）、病気休暇、
特別休暇（結婚、出産、忌引等）
夏季一斉休業（お盆時期の約1週間）
産前産後休業、育児休業、介護休暇等

10.福利厚生

<文部科学省共済組合>

社会保険（年金・健康保険）にあたる保険が完備。
給付（病気、けが、出産等）、積立貯金、貸付などを受けられます。
その他、宿泊施設や保養施設等利用可能

<保育所>

教職員専用の保育所を筑波キャンパスの敷地内に設置

<健康管理>

保健管理センター（筑波地区）で健康相談等、予防接種等が可能

<学内施設>

中央図書館と3つの専門図書館（筑波地区）及び大塚図書館（東京地区）を利用可能
テニスコートやグラウンド、体育館や屋内プール等の各種スポーツ施設も利用可能

11.参考



筑波大学
職員採用HP



筑波大学 大学経営推進局
コラム・ピープル